



## みんなの声を教育へ



### 《特集》 佐賀大学の教育改善は「みんなの声」からつくられる

- 社会で輝く先輩からのメッセージ
- 教育・研究 Report
  - ◎ 音楽は「自分を表現する術」を知る学問 芸術の学びで、人生はもっと豊かになる
  - ◎ 東アジア人特有の遺伝子 rs671 研究の第一人者、コロナ罹患との関係を解明
  - ◎ 「土の見える化」技術から、土砂災害の検知システムを開発。早期実装を目指す
- イキイキ佐大生／佐賀県学生献血推進協議会～ちっち～
- お知らせ







# 佐賀大学の教育改善は みんなの声からつくられる

佐賀大学は2020年に策定した「佐賀大学のこれから-ビジョン2030-」に基づき、さまざまな方向から改革に取り組んでいます。今回はそのうち「教学マネジメント推進室」を中心に『教育』の領域で行われている教育改善を紹介します。

## 教育を可視化して

## 教育の質を改善・向上

「教学マネジメント」とは、大学がその教育目的を達成するために行う、教育の管理運営です。

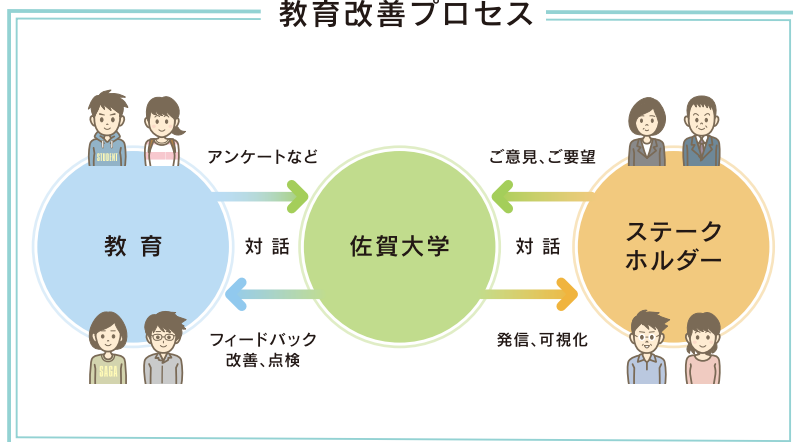
日本各地にある大学はそれぞれの教育方針に基づいて、独自の教育を展開しています。その教育について、根拠のあるデータをもとに振り返りながら、あらためて教育成果の点検・改善支援を行うことで、大学の教育および学修の質を改善・向上させる。それが教学マネジメントの役割です。

2022年4月、佐賀大学にも教学マネジメント推進室が発足しました。この推進室には室長である中村博和教授をはじめ12名の教員が集結。日々、学生および教職員、カリキュラムなどに関する、ありとあらゆる教学データを集積・分析・可視化しています。

教学マネジメントに取り組み、継続することで佐賀大学がめざすもの。それは入学から卒業までに「学生一人ひとりが成長実感を得られる教育」です。



## 教育改善プロセス



## ステークホルダーとの 活発な意見交換を重視

今、特に教学マネジメント推進室が重視しているのが、大学運営に関わるステークホルダー（学生、保護者、自治体、企業、教職員など）との対話に基づくエンゲージメント構築です。エンゲージメントとは、「お互いの強い関与に基づく互恵的な協働」を意味します。

この方針のもと教学マネジメント

ト推進室では、ステークホルダーの方々と交流会などを重ね、ご意見を聞き、その内容を教育の現場へとフィードバックしています。「地域社会の期待に応える人材の輩出」を佐賀大学の責任のひとつとして、日々活動が続けています。さらに教育の現場に近いステークホルダー（教員、職員、学生など）とも対話や意見交換を重ね、そのことで、気づきを教育改善につなげること、「学生一人ひとりが成長実感を得られる教育」の実現を推進しています。

この教育改善を経て、2030年に佐賀大学が目指す大学像は3つあります。1つ目は、学生・卒業生・教職員といった佐賀大学に関わる人々が自信を持って誇れる大学です。2つ目は、受験生に限らず学問を追究する人々が佐賀大学で学びたいと選びたくなる大学です。3つ目は、企業・自治体・市民等を含む地域社会から、必ず期待に応えてくれると信頼される大学です。

これら3つのあるべき姿に向けて、教学マネジメント推進室は佐賀大学の「これから」を創造し、地域とともに発展し続ける大学となるように活動を推進中です。次のページではその一部を紹介します。

## ステークホルダーからのご意見



### 卒業生（卒業生、修了生アンケートより）

専門性のある職場で働いている職人さんや従業員さんは身近に感じやすいので、**各分野の専門性を持った人の話を聞ける場**があったら良かったなと思う。講演という形が難しければ、学生が訪問という形でかなり学びを得られると思う。



### 卒業生（卒業生、修了生アンケートより）

**在学中に民間企業の方と事業を考案した経験が現在社会人になって役に立っている**と思う。学部の授業では、経験できない社会的な考え方や物事へのアプローチの仕方を学べたことが良かった。学生時代にもっとこういった活動を積極的に行っておけば良かったと思う。



### 企業（HR 交流会アンケートより）

**社会課題を学生に考えさせて、その課題を解決できるような企業とワークショップで議論できたら面白い**かなと思う。実際には経営資源の投資に見合うリターンを得つつビジネスとして成立させられるかを、壁にぶつかりながらも模索できるといいと思う。



### 企業（HR 交流会アンケートより）

**地域貢献に関わるようなイベントの企画～運営までを、企業の社員と学生で協力して実施**できたら、社会の役に立っている実感+協調性や、柔軟な考え方の必要性などを感じていただけるのかなと感じる。



### 保護者の視点から大学全般に対して期待すること

※2024年オープンキャンパスの実施アンケートより（407人が回答、複数回答あり）

専門的な知識を習得するための教育の他、社会で生き抜くための実践力を育てる教育について期待する声が多く寄せられています。

- |                                   |                               |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| 1 専門的な知識を習得するための教育 ..... 25.7%    | 4 奨学金をはじめとした経済支援 ..... 8.7%   |
| 2 社会で生き抜くための実践力を育てる教育 ..... 23.5% | 5 地域社会と連携した教育・研究活動 ..... 6.5% |
| 3 就職をはじめとしたキャリア支援 ..... 23.1%     | 6 その他 ..... 12.5%             |

ステークホルダーからいただいたご意見をもとに、佐賀大学では教育改善に取り組んでいます。次ページ以降にその取り組みをご紹介します。





教学マネジメント推進室 浅田 隼平 講師

2022年10月、佐賀大学に着任。教学マネジメント推進室の業務のほかインターフェース科目「チームビルディングとリーダーシップ」を担当。ペットは犬とヘビ。

## エンゲージメントから 学生が得られる恩恵を 最大化したい

「佐賀大学憲章」に基づく『教育』の改革に深く関わる教学マネジメント推進室。その中心的存在である浅田隼平先生にお話をうかがいました。

教学マネジメント推進室の設立は2022年。佐賀大学全体の『教育』と『学生支援』のマネジメントを推進するとともに、全学的な視点で教育活動の検証・改善を行い、佐賀大学の教育の質を向上させることを目的に発足しました。

「現在、特にステークホルダーとの対話に力を入れています」と浅田先生。学外へも積極的に足を運ぶことで企業や行政からの声を集め、教育改善に活かしています。佐賀大学開催の交流会では、企業

から学生への高い評価をいただく一方、より実践的な教育に期待している、課題解決に向けて自ら動ける人材を輩出してほしいとの声が少ないから上がったとのこと。コロナ禍の影響で実践的な教育の機会に恵まれない時期があったのも要因のひとつかもしれません。ただ浅田先生は「それらの声をいただき、私たちが今取り組んでいる『教学マネジメント』の方向性は間違っていないと確認できました」と話します。

佐賀大学では以前よりPBL(課題解決型学習)に数多く取り組んできました。学生の専門以外の分野でも横断的に学べるインターフェース科目が必修であること、各学部でプロジェクト型の教育が多数行われていることも、学生の実践力や課題解決能力の向上に寄与しています。

さらに大学が企業や行政とのエンゲージメントを構築することで、学生はより社会に近い実践的な教育を受けられ、企業や行政は学生の発想を取り入れられるといった相乗効果のある学びが増加します。「私たちの仕事は、学生がエンゲージメントから得られる恩恵をより豊かにすること。それが叶う仕組みづくりを構築すること



佐賀大学の教育に関するステークホルダーとの意見交換を目的として、2024年6月25日(火)実施の「サガHR交流会」に参加しました

です」と浅田先生。実際に「学生のために何かをしたい」と手を挙げてくれる企業も多く、それを具体的な教育に落とし込む土台づくりも今後の課題だといいます。

「保護者の方も大学の大切なステークホルダー。広報誌『かちがらす』には保護者向けアンケートが付いていますので声を寄せてください」と浅田先生。巻末の17ページからぜひご回答ください。

そのサガ  
見える

特設サイトを  
チェック!





# 1

インターフェース科目

## 2年間でできる 「がばいベンチャー」 の作り方

学生が興味のある分野の知識や技術を培うことで、自分自身の強みを増やし、社会で生き抜く実践力を向上させるインターフェース科目。その中で学外のステークホルダーと連携した取り組みに着目しました。



## ステークホルダーと 授業の構築を検討

インターフェース科目「2年間でできる『がばいベンチャー』」の作り方（以下「がばいベンチャー」）は、佐賀大学とステークホルダーの協議から始まりました。

担当の農学部 田中宗浩教授に伺うと「2015年、佐賀大学・佐賀県・株式会社オプティムで、IT農業に関する三者連携協定を締結しました。その際、ITを活かした新サービスやビジネスモデルの創造が求められる時代に向けて、どのような人材育成をするべきか検討しました。結果として学部を越えた講義の枠組みであるインター

フェース科目を活用して、様々なバックボーンを持つ学生が一緒になってアントレプレナーシップ（起業家精神）を学ぶ講義を構築することに至ったのです」。

## 自ら行動できる人材へ 在学中に起業する学生も

アントレプレナーシップを養うことを目的に「がばいベンチャー」で学ぶのは、ロジカルシンキング、マーケティング、企業経営、プロダクト開発技術、知財戦略、スマート技術を基盤としたビジネスプラン構築などです。講義は課題解決型のワークショップ形式で、さまざまな学部の学生がともに学んでいます。

また、ステークホルダーが教壇に立つことも「がばいベンチャー」の大きな特長です。現在、プログラミングは株式会社オプティムから、起業家教育やビジネスプラン構築はNPO法人 鳳雛塾ほうすうじゅくから講師を招いて、講義を進めています。さらに、佐賀銀行をはじめさまざまなスタートアップ企業にも登壇してもらっています。鳳雛塾は社会人向けのビジネススクールを主催し、これまでも多くの起業家を輩出しています。学生たちはビジネスを身近に感じられる環境のなか、社会の課題を発見しながら解決のアイデアを出し合い、議論を深め、課題解決をするためのビジネスプラン構築に取り組みます。

『「がばいベンチャー」を通して、学生がお互いの多様性を認めあいながら協業することの楽しさに気がつき、自ら学ぶ姿へ成長してゆく様子がこの講義の醍醐味です』と田中先生。在学中に起業へチャレンジした学生も多数です。今後も「がばいベンチャー」でアントレプレナーシップを学んだ学生たちの活躍に期待が高まります。

### 学生の声 Student Voices

#### 意見交換や発表の機会が 自分の殻を破るきっかけに



経済学部 経済法学科 3年 原 奈緒佳さん

授業ではグループごとに考えをまとめ、発表する場面が多数あります。私は控えめな性格でアイデアを考えるのは好きだけど、人前では緊張しがちでした。しかし授業でディスカッションや発表を繰り返すうちに少しずつ変化が起き、自分のアイデアに対して周囲からフィードバックがあるのも刺激になりました。この経験をいかし、卒業後は企画に関わる仕事がしたいです。



学生が主体的に課題を解決していくアクティブ・ラーニング型の授業。グループで意見を交わし、作業も分担し、課題を進めていく





## 地域創生 フィールドワーク

佐賀大学芸術地域デザイン学部ではさまざまな地域やそこに暮らす方々に協力を仰ぎながら、フィールドワークを行っています。学部新設から8年、大学と地域の方々の間に新たな関係性が構築されつつあります。

## ステークホルダーの声も 取り入れた学部コンセプト

佐賀大学芸術地域デザイン学部は「芸術を通して地域創生に貢献する人材」を養成する学部です。2016年に新設され、佐賀県内の地域および地域に暮らす方々と深く関わりながら、芸術的な手法で地域をデザインすることを目的のひとつとしています。

芸術地域デザイン学部の中村隆敏学部長によると、「学部としてのコンセプトを固めていく段階で、地域のステークホルダーの声を集めたところ、『芸術地域デザイン学部

と手を携えてまちづくりがしたい』『学生さんの新鮮なアイデアがほしい』といった多くの要望をいただきました」とのことです。

## 地域との関係性が深まり 協定を結ぶ機会が増加

芸術地域デザイン学部は、そのようなステークホルダーの声を受け、また学部としての教育目的を果たすため、地域デザインに取り組みカリキュラムを充実させています。入学した学生は全員、選択コースに関わらず1年次から「地域デザイン基礎」を学び、3年次にはより実践的な「地域創生フィールドワーク」に取り組みます。

フィールドワークは、佐賀市や武雄市、吉野ヶ里町、有田町などを訪れ、地域の皆さんにもご協力い



ただきながら実施してきました。中村学部長は「それぞれの地域とお付き合いが始まると、次はあれをしよう、これをやってほしいと、住民の皆さんから多くの声が寄せられます」と語ります。

こうした関係性が深まり、佐賀大学と地域（自治体）や地域の企業との間で協定を結ぶ機会も増えています。2025年に国民文化祭を開催する長崎の実行委員からも、学生によるまちおこしについて意見交換を求められました。

## 学生と地域の両方に

## 恩恵がある学びを

2024年度、中村学部長のゼミでは、有田町でフィールドワークを行い、モキュメンタリー（※）映像を制作しました。学生たちは

地域を訪れ、ストーリーを組み立て、地域の方々に出演依頼や協力を仰ぎ、上映会に至るまでの過程を通して大きく成長できたそうです。中村学部長も「私たちのフィールドワークは企画書制作で終わりでなく、作品が形として残るのが特長。それが地域の方々にも喜んでいただけます」と頷きます。

最後に「今後も学生と地域を有意義な形でつなぎながら、学生と地域がともに恩恵を受けられる学びの仕組みづくりをしていきたい」と話してくださいました。

## 学生の声 Student Voices

### 地域のさまざまな人を 巻き込んだ映像制作でした



芸術地域デザイン学部 地域デザインコース 3年 桑原 百加さん

モキュメンタリー映像のタイトルは「おっしょさんの話を聞いてくれませんか」。制作と上映では、有田町のみなさんに多大なるご協力をいただいたのですが、学外の方と一緒する時の準備の大切さ、スケジュール管理の重要性が苦労した分、記憶に残っています。一番楽しかったのは上映をする日。地域の方のさまざまな反応が興味深く、ありがたかったです！

（※）ドキュメンタリーの演出手法を用いて、フィクションを表現する映像作品やその手法。



# 3

佐賀大学経済学部での取り組み

## “伝える力”を育む 講義やサポート

佐賀大学経済学部では学外のステークホルダーとのエンゲージメントを築きながら、学生の成長につながる取り組みを実施中です。今回はそのうち「社会課題演習」と「エントリーシート添削」を紹介します。

## 学外の意見を取り入れ 新しい講義をスタート

佐賀大学経済学部では以前より、研究・教育の成果を地域社会に公開し、地域とともに研究・教



「社会課題演習」の講義内容は、年金制度、外国人労働、M&A、ゴミ問題など多岐にわたる

育を発展させてきました。佐賀県内10市と連携した調査や研究も活発で、地域社会の課題解決に努めてきたのです。さらに2021年度から調査・研究活動の課題をより広範な社会に広げ、社会課題研究センターを設立しました。

そこに集う、行政、民間企業、同窓会の方などのステークホルダーから「佐賀大学生は穏やかで優秀だけどおとなしい」「もっと積極的な発言がほしい」などの声を受けて、「社会課題演習」という講義を1年次後期必修科目に設置。専門知識を用いたコミュニケーション能力の向上と「他者に有効に伝えるための技術の向上」を目的として、教員および社会課題研究センターに関係性のある方などが教壇に立っています。

## 「社会課題演習」で 育む言語的 コミュニケーション

「社会課題演習」では学生がひとつのテーマに対し、別の視点を持つ専門家2名からそれぞれ1回ずつ講義を受け、その内容をまとめて、周囲の学生に口頭で説明します。「多様な知識を得る」「自身で考える」「自分の言葉で他者に論理的に伝える」を4セット繰り返し行うことで、学生が今、社会に求められている、言語的なコミュニケーション能力の成長を促します。

講義終了後は講師と教員が車座で集まり、今後どのような講義を重ねることで、学生がより社会に求められる人材になれるのかを検討。講義内容の改善につなげます。

また、経済学部では昨年度から、就職に向けたエントリーシートの個別添削を開始。民間企業が添削を行い、学生自身の強みや魅力がより明確に伝わるようサポートを実施中です。この

ように経済学部ではステークホルダーと大学が一体となった教育改善を行い、学生に必要とされる教育を届けています。



コミュニケーション能力を育む取り組み

## 学生の声 Student Voices

### 「社会課題演習」の受講で 伝える力が伸びました

経済学部 経済法学科 4年 荻本 結衣さん



「社会課題演習」では幅広い方々からお話を聞き、法律がさまざまなものと密接に関わっていると実感。相手に伝える能力の不足にも気づけ、興味を持ってもらえるプレゼンテーションを意識するようになりました。またエントリーシート添削では、ガクチカの内容に具体的な行動や数字を入れ込むようアドバイスをいただきました。印象に残る内容に改善でき、「日本年金機構」への内定が決まっています。



# 社会で輝く 先輩からの メッセージ

2023年度の卒業生・修了生の

就職率は

**99.7%**(2024年5月1日現在)

と近年高い水準を維持しています。

いま社会で活躍している本学のOB・OGから

就職を目指す在学生へのメッセージを紹介します。



## 佐賀大学公式 マスコットキャラクター

|       |             |
|-------|-------------|
| 名前    | カッチーくん      |
| 性別    | オス          |
| 誕生日   | 2月29日       |
| 年齢    | ひみつ         |
| すぎなもの | いちご         |
| 苦手なもの | グリンピース、うめぼし |
| 性格    | 心優しく、天然系。   |
|       | でも好奇心は、鳥一倍  |

## 「学生時代こそ、今この瞬間を

思い切り楽しんでほしいです」



私は今、小学校2年生(7、8歳)の担任として、29人の子どもたちと日々頑張っています。志望のきっかけは、目標となる先生との出会いがあったこと。その反対に高校時代、野球部で3年間辛い思いをしたことです。こんな思いを子どもたちにさせてはいけないうと、自分自身が「先生」になることを選びました。

学生時代は、他に消防士にも惹かれていたので、教員採用試験と公務員試験の両方を、大学4年生まで勉強していました。部活は準硬式野球部で、最高のメンバーと充実した時間を過ごすことができました。監督不在、部員のみチームで、目指すは「全国大会出場」。何度もぶつかり合いながら、目標に向かって努力する

大切さを学んだと思います。そしてこの時のことは、担任する子どもたちにも伝えていきます。

アルバイトは4年間スターバックスに通い、掛け持ちで居酒屋、コンビニ、有明海の家苔の養殖、ブライダルなど多種多様な経験を積みました。中学校軟式野球部(現佐賀大学ベ이스ポールクラブ)の指導を、大学1年生から今も続けています。周りを見て指示する力、誰かのために動く力が備わり、子どもたちの小さな変化に気付く力へつながりました。

目標は、佐賀県内の子どもたちに携わり、人として立派な存在を一人でも多く育て上げられるような先生になること。そして、誰からも信頼される先生になりたいと感じています。



中村 時崇  
NAKAMURA Tokitaka

東明館高等学校  
教育学部 小中連携教育コース  
初等主専攻・保健体育科  
2024年卒業

佐賀市立巨勢小学校







南 宏太  
MINAMI Kouta  
桐光学園  
医学部医学科  
2024年卒業

佐賀大学医学部附属病院

小学生の頃、膝が曲がらなくなって入院した時期がありました。歩けなくなるのではと不安でしたが、やさしく丁寧に診療していただき、無事に治りました。その時「困っている人を助けられる素敵な仕事だな」と思ったのが、医師を志したきっかけです。

現在は医師1年目で、初期研修医として働いています。入院中の患者さんの診察、外来診療、手術の助手に入るなど、さまざまな仕事をしています。

学生時代を振り返ると、低学年の頃はまだ具体的な目標はなく、気になる会やイベントがあればとりあえず顔を出していました。その後、ハワイでの病院実習やバックパッカー旅を経験したことで、母国である日本をより相対的に

に見ることができるようになりました。当時の経験から、アメリカで医師として働き学んだことを還元したいと思うようになりました。

一方、やっておけばよかったと思うのは、ボランティア活動です。社会人となり、自分は今までいかに狭い世界で生きていたかと感じます。今からでも積極的に参加したいと思っています。また、専門である医学の勉強をもっともつとしておけば良かったと思います。

学生の皆さんには、周りの人に流されず、やりたいことがあれば突き進んでほしいと思います。孤独を感じるかもしれませんが、必ず理解者が現れます。心から応援しています！

「孤独でもやりたい方へ進むこと。いつか必ず仲間に出会えます」



林田 瞳  
HAYASHIDA Hitomi  
玉名高等学校  
工学系研究科循環物質化学専攻  
2014年修了

株式会社ミリオナ化粧品

受託製造（OEM）に興味湧き、医薬部外品に強みを持つ弊社に入社しました。さまざまなブランドのスキンケア、ヘアケア、口腔ケア製品などを研究開発しています。まずメーカーなどお客さまの要望に合わせ、処分を組んで試作。お客さまに評価され、数回作り直し、化粧品の中身（バルク）が決定します。また製造工程を考えて、必要な書類も作成します。

大学では研究室の実験に加え、サッカー部マネージャーやダンスサークル、アルバイトと多忙な日々でした。在籍した生化学研究室は、仲が良くて毎月誕生会を開いたり、先生方と皆で食事に行ったり。実験では思うようにいかず、目的の化合物までたどり着けない経験をたくさんしました。

化粧品の試作も同じで、失敗と成功の繰り返し。その時身に付いた課題への取り組み方、方向転換などの経験が今とても役立っています。化粧品開発には幅広い知識が必要です。新設のコスメティックスサイエンス学環（令和8年4月開設予定）は、幅広い分野を学ぶことができ、化粧品業界を目指す人にはとても良い環境だと思います。

佐賀県は、コスメティックス構想を掲げ化粧品産業振興を進めています。弊社も一昨年福岡に研究所を新設し、九州のお客さまに手厚く迅速な対応ができるよう体制を強化しています。今後もより魅力的な商品開発を進め、九州から多くのメイドインジャパンを世界に届けたいと考えています。

「私は、本当は何をしたいのか？就職活動を機に見つめ直そう」



# 音楽は「自分を表現する術」を知る学問 芸術の学びで、人生はもっと豊かになる

教育学部 学校教育課程 准教授

石川 美也子 ISHIKAWA Miyako



## コンクール受賞が増え 初心者も半年で演奏

教育学部で、音楽分野や教員志望の学生にピアノ実技の授業を行なっています。音楽を専門とする学生も、個々の能力や音楽性は十人十色です。スペシャリストを育てるにはマンツーマンの指導が必要な

ため、時間をかけて個人レッスンをしています。力を伸ばすのに必要なことは、自己分析、現状認識、課題を改善する手法。これで基本的な技能は確実に伸びます。個人レッスンでは、今どのように演奏したのか、どんな考えで演奏したのかなど、たくさん質問します。学生自身に改善法を考えさせ、



学生の力を伸ばすことにフォーカスした音楽大学さながらの個人レッスン

私からは新しい知識や手法を伝えま  
す。学生は気が抜  
けないかもしれま  
せんが、自分で気  
付く耳を育て、自  
分で改善しようと  
する思考を伸ばす  
ためです。佐賀大  
学は素直な学生が  
多く、コンクール  
でも生き生きと演  
奏し、受賞も増え  
ました。これから  
も積極的にチャレ  
ンジし、希望を叶  
えてほしいと願っ  
ています。

小学校の教員養成のための  
授業「小学ピアノ」では、学  
生が協働作業を経験できるグ  
ループワークを取り入れてい  
ます。2〜3人ひと組で先生  
役と生徒役になり、課題曲に  
向かいながら、いかに他を認め  
自己を知り、伸ばし、協力し  
ていくかを和気藹々と体験し  
ています。その中でまったく  
のピアノ初心者の学生も半年  
で弾けるようになり、「音楽力  
が付いた」「楽譜が読めるよう  
になった」と言う子もいます。



学生の定期演奏会は毎年12月に開催(写真は2023年)

できることが増えて面白そう  
ですし、指導する私も学生の  
変化は興味深いです。音楽は、  
楽しみ教科といわれます。将  
来教員となる学生たちが受け  
持つ生徒たちに伝える、音楽  
を楽しめる仕掛けやヒントに  
なれと思います。

## ピアニストとしての 豊かな経験を礎に

ピアノを始めたのはヤマハ  
の音楽教室です。中学生の頃、  
本格的なコンクールに挑み、



周囲からすばらしいと絶賛されたことがあります。しかし全国大会へは行けなかったのです。それが腑に落ちなくて、どうすれば良かったのか14歳なりにとことん追求しました。練習量を増やし、ピアノ曲のCDを何度も聴きました。自己流の練習法も編み出しました。そして翌年、PTNAという大きなコンペティションのE級全国大会で優勝（金賞）。母から勉強しろと言われたことは一度もないのですが、「何事もやるなら徹底してやれ」と。



2024年12月のソロリサイタルにて

ラとピアノ協奏曲を演奏する多くの機会に恵まれました。世界レベルのソリスト、ベルリンフィルの首席奏者やウィーンフィルの首席奏者とも共演。地域のチャリティコンサートなども含めると演奏回数は1500回以上になります。

特に印象深いのが『熊川哲也Keyboardet2001』の全国ツアーに、ピアノソリストとして参加したこと。バレエ公演なので舞台に合わせ、各地のオーケストラと協

それが功を奏したのかもしれない。地元千葉県で渋谷教育学園幕張高校に進学。2年生の時、PTNAのF級全国大会で2位（銀賞）となりました。

音楽大学へ進むと演奏会の依頼が増え、ピアノソリストとして活動を開始。ソロだけでなく各大学やさまざまなプロオーケストラとピアノ協奏曲を演奏する

演しました。舞台と音楽を一つにする難しさを知ったのと同時に、生演奏とバレエで毎回ベストなものを創り出す臨場感、それらすべてで成り立つ総合芸術であることを認識し、高揚しました。熊川さんが「音楽はすごい。僕たちは音が一つでもない、表現できないんだよ」とおっしゃったのを、今も覚えています。

**音楽の学びで思考力と表現力を伸ばしたい**

演奏活動と同時に個人レッスンもしていたので、個人の能力を伸ばすことにも関心がありました。生徒たちの学校の話から教育に興味湧きます。その後、音楽は具体性のある学びではないかと考えるようになり、大学へ視野を広げたところ、佐賀大学との出会いがありました。単身で佐賀に赴任しています。観光大使になれると思うほど、あちこち詳しくなりました。お米も野菜もおいしくて、自炊が捗ります（笑）。

音楽の魅力は、同じ楽器を演奏しても人によって違う音

が奏でられること。また、同じ人でも時によって違う演奏になる可能性が無限にあること。それを共に体験し、共に学べること。古代ギリシャで、音楽は数学、天文学と並ぶ学問で、私は「表現する術」を学ぶものだと思えています。音楽を学ぶことでたくさんの子供たちが考える力と表現力を伸



ベルリンフィルのトランペット首席奏者タルケヴィと



イギリスのパレエダンサー、アダムクーパーと



Kバレエカンパニーのダンサーたちと

ばし、より深く音楽を楽しんでもらえるような教育活動をしていきたいと考えています。また、プロの演奏でのクラシック音楽をもっと身近に感じてもらい、日常の中にクラシック音楽がもっと広がっていくような活動もしたい。佐賀の地で、芸術の学びは人生を豊かにすることを伝えていきます。

# 東アジア人特有の遺伝子rs671研究の 第一人者、コロナ罹患との関係を解明

医学部 医学科 社会医学講座教授(特定) 医学博士

松本 明子 MATSUMOTO Akiko



## 産業医学の分野から 研究がスタート

産業医大卒の私は社会医学、なかでも産業医学を担当しています。産業医学とは労働環境・作業条件とそこで働く人の健康との関わりを追求する学問です。すでに起こってしまった病気を治療するの

ではなく、環境整備による予防を目指すもので衛生学・公衆衛生学と呼ばれ、社会医学のひとつです。健康被害をもたらした石綿(アスベスト)や印刷工場の発がん物質のニュースはお聞きになったことがあるでしょう。例えば化学工場で扱う物質が働く人にどんな影響を与えるのかを調

東アジア人に特有のALDH2 遺伝子多型 rs671

|                                                                                     | 遺伝子                         | 活性      | 疾病リスク                           | モデルマウス                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------|---------------------------------|----------------------------------|
|    | 野生型ホモ<br>ALDH2*1/*1<br>(1型) | 100%    | 高血圧<br>肥満<br>不安神経症              | Aldh2 <sup>+/+</sup><br>(活性100%) |
|   | ヘテロ<br>ALDH2*1/*2           | 6%-16%? | 飲酒関連癌<br>喫煙関連癌                  | Aldh2 <sup>+/-</sup><br>(活性50%)  |
|  | 変異型ホモ<br>ALDH2*2/*2         | 0%      | Fanconi<br>貧血の増悪<br>冠動脈性<br>狭心症 | Aldh2 <sup>-/-</sup><br>(活性0%)   |

→ 2型保有者

松本明子, 日本衛生学雑誌, 2016年, 2018年, Matsumoto, A, Adv. exp. med. biol., 2019より

変異型(rs671 変異体)を持つと蛋白質の働き(酵素活性)が弱まる。その影響から、野生型遺伝子だけを持つ人、変異型だけを持つ人、両方を持つ人(ヘテロ)で、疾病のリスクが異なると考えられる

## 遺伝子型の違いで見る 飲酒との関係

べ、問題があれば労働環境の改善や法改正を提案します。ただ、健康影響は体質に左右されます。私は環境と体質の組み合わせがどのような健康影響を生むのかに興味を持ち、研究を続けています。

お酒で皮膚が赤くなる現象は

日本では馴染みがありますが、実は東アジア人以外ではまれで、アジア人フラッシュ体質と呼ばれています。稲作文化の広がりとともに広まった遺伝子変異と考えられています。原因は2型のアルデヒド脱水素酵素を作る遺伝子ALDH2のrs671変異。2本セットの遺伝子の両方に変異がない野生型(1型)の人はお酒に強く、変異(2型)を1本持つ人(ヘテロタイプ)はお酒で赤くなるタイプ。両方とも変異遺伝子を持つ人はいわゆる下戸のタイプです。日本人の半数は野生型、4割はヘテロ、1割が下戸タイプです。

研究を始めた頃「アジア人フラッシュ体質の工場労働者は化学物質の健康影響が強く

## 病気との関連性から コロナ罹患率に注目

表れる」という仮説を検証するため、開発されたモデルマウスを観察していました。続けるうち、マウスに思いもよらない特徴がたくさん観察されるようになりました。以来、約20年間、この研究を続けています。

コロナ禍となり、コロナワクチンの効き方がアジア人フラッシュ体質の影響を受けることに気が付きました。そんな中、私の研究をご存知だった農林水産省消費・安全局の高島賢さんから連絡をいただきました。高島さんもコップ



農林水産省消費・安全局で現在本学の客員研究員である高島賢さん(左)。飲酒で顔が赤くなるアジア人フラッシュ体質(右)で、コロナ禍では無症状だった





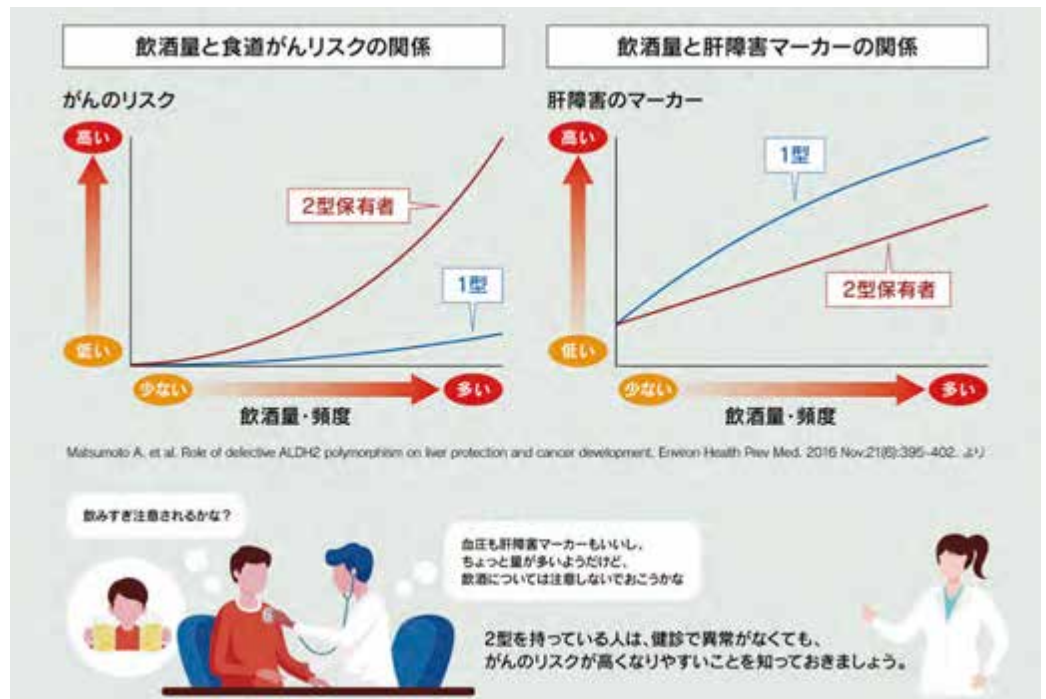
1杯のビールで顔が赤くなるアジア人フラッシュ体質。新型コロナウイルスやインフルエンザなどの流行時には無症状だったらしく、「自分のアジア人フラッシュ体質と関係があるのではないか」と考えたそうです。とても熱心な方で、その日のうちに私から共同研究を打診し、快諾をいただきました。

数か月後には高島さんの発案で簡易ウェブ調査を行い、コロナ禍初期におけるアジア人フラッシュ体質の人の罹患リスクは約5分の1という結果を得ました。そして「アジア人フラッシュ体質の人は新型コロナウイルス感染症に罹りにくい」という論文を発表。大きな反響を呼びました。

遺伝子型ごとに、免疫細胞の仕組みが違うのかもしれない。昔、稲作文化とともに蔓延した感染症に対し、この体質が有利だったからこそ東アジア限定で広がったのだろうと考えています。昨年、規模を拡大して行ったアンケートでも同じような結果が見えつつあります。メカニズムを含め、今後も調査を進めます。

## 日々の観察とデータ分析が定説を覆すことも

アジア人フラッシュ体質で最も知られているのは、飲酒による食道がんリスクです。この体質がほとんど見られない欧米では、アルコール依存



1型(野生型ホモの人)と2型保有者(ヘテロおよび変異型ホモの人)では、飲酒による食道がんのリスクや肝臓への影響が異なる

のです。異常がないと、飲酒習慣を見直す機会を失いがちです。検査に異常がなくても、がんのリスクはあることをぜひ知ってください。

多くの方は、アジア人フラッシュ体質の方の飲酒は、より肝臓に悪いのでは、と思うでしょう。研究を始めたばかりの頃、私もそう思っていました。しかし、

調べてみるとそうではなかったのです。若い研究者が出した定説と異なる知見には反論も多く、何度も論文を書き直し、博士号取得までずいぶん遠回りをしました。しかし、そんな困難を乗り越えたからこそ、今があると思っています。



スタッフが増え、観察・調査・分析にますます力が入る。「チームで成長していきたい」と松本先生

研究は他人の真似でなく「自分にあった方法で機嫌よく」続けるのがいいのではないかと思います。諦めないでいると協力者が現れて、広がっていきます。これから研究を始めるみなさん、分かっていることに対して、新しい理解を切り開いていく研究の醍醐味を味わってみてください。



# 「土の見える化」技術から、土砂災害の検知システムを開発。早期実装を目指す

農学部 生物資源科学科 食資源環境科学コース 教授

宮本 英揮 MIYAMOTO Hideki



## 農学分野の土壌研究者が土砂災害の前兆を追求

私の専門は、土壌内の水、化学物質、エネルギーなどの移動の仕組みを明らかにする土壌物理学です。センサーを用いて土中のあらゆる情報を数値化し、環境と調和した効率的なIT農業（スマート農業）や、土壌の持続可能な活用方法を考案しています。それらを実現する専門人材の育成にも従事しています。「土の見える化」技術の開発は農学研究から始まりました。世界には乾燥した農地が多く、水の使い方によっては土を劣化させ、砂漠化が進行します。節水しながら土を劣化させないよう水を撒く、という海外の農業から発展してきた経緯があります。

現在、土砂災害被害者ゼロを目標に、「地中埋設センサー等」を活用した土砂災害前兆の早期検知に令和4年度から取り組んでいます。土砂災害の約6、7割を占めるがけ崩れは、発生場所・日時の予測が難しく対策ができません。そのリスクがある急傾斜地は全国に約45万ヶ所、佐賀県内に約9千ヶ所

あり、大半が過疎・高齢化が進む中山間地域に存在します。そのような地域の山林に、土中の小さな異常を検知する高性能センサーを多数埋め込み、センサーネットワークを構築。得られたデータから土砂災害被災

リスクをAIで診断し、確かな避難へとつなげることを目指す佐賀県と本学の連携プロジェクトです。研究のきっかけは、「熊本地震で傷ついた郷土のために何かしたい」という熊本出身の学生の声でした。私

の強みである土の見える化技術、すなわちIoTを活用した土の見える化技術を使い、地盤工学や地すべり工学の研究者とともに、南阿蘇村で調査を開始しました。土壌中の水は土砂災害の引き金になり得ます。そ



①佐賀市内の小学校敷地にも気象観測装置を設置。②山林に埋めたセンサーの座標を計測する学生。③2023（令和5）年、山口佐賀県知事が視察に。④南阿蘇村における斜面観測の様子。熊本地震の翌年、2017（平成29）年11月撮影。⑤武雄市の山の斜面観測の様子。⑥サガヤマシルの要における斜面観測の様子、ソニー ELTRES 通信基地局。サガヤマシルを全国へ広げたい



研究費をどうにか工面しながら、土壌内の水の移動や増減を正確に測る高性能センサーと、それを山林に配置して遠隔運用できるIoTシステムを協力企業とともに開発できました。その二つを組合わせ、「土

**遂に「サガヤマシル」誕生  
しかし実装への道のりは…**

の水の移動の様子や小さな変化を、可視化しようとしました。しかし、既存技術は乾燥した土の水分を測るもの。水気の多い土に対応する技術は存在せず、新たなセンサー開発からのスタートでした。



歴代のセンサーネットワーク端末。左から2号機(30×20cm)、3号機(21×16cm)、4号機(17.5×12.5cm)、5号機(12.5×7.5cm、最新の機種)

砂災害早期検知システム」が誕生。令和5年7月から野外実証試験を開始、11月に山口祥義佐賀県知事が「サガヤマシル(佐賀、山、知る)」と命名されました。土の見える化技術を利用して、身近な生活圏に潜む被災リスクをデータ化する方法も考案済みです。もし自宅の裏山のデータが異常を示し、大雨の予報が出ていたら……避難の準備をするのではないのでしょうか。この土砂災害の予測機能を、サガヤマシルに取り入れる開発を進めています。数年の開発期間を要しますが、完成すれば土砂災害リスクを地域住民にピ



左はセンサーネットワーク端末5号機、右が土壌中に埋め込むセンサー

ンポイントで届けることができ、命を守る確率が上がります。ただ、山林は日陰が多く、ソーラーパネルで十分に発電できない場所が多々あります。携帯電話の電波も届かず、山林は、IoTを導入するのが困難なのです。サガヤマシルを広く展開し24時間の広域監視ネットワークを構築するには、電源と通信というITインフラの整備が不可欠です。さらにサガヤマシルが社会で活用されるには、それを担う民間企業のビジネスとして成立しなくてはなりません。しかし私は研究者で、新しいアイデアや技術を生

み出すことができて、ビジネスは不得手。令和5年11月「氣象業務法及び水防法の一部を改正する法律」が施行され、土砂災害予測業務が条件付きで民間事業者に解禁されましたが、未知の領域であるためか企業の腰は重いようです。

「安全・安心のための費用を誰が負担するか」を社会全体で議論し、解決する必要があると思います。多くの人に考えてもらうため、関連する情報発信と啓蒙活動を行う予定です。

### 防災の「ITインフラ」から 人の幸せを守るDX構想へ

私は、防災・減災を入り口としてITインフラを構築後、平時も利用可能なサービスへ横展開するDX推進構想の一環として、サガヤマシルの早期実用化を目指しています。構想の根底には人の命を守り、人生の質(QOL)を高め、人間の根源的な幸福を追求する思想が流れています。地域住民、企業、行政と協力しながら山の未来を創造するこの



本庄キャンパス農学部畑に設置されている端末初号機と宮本先生

挑戦は、とても意義深いものであると考えています。

30年前、佐賀大学に入学した私には将来の目標などありませんでした。3年生の時、研究室で土の世界を知り、その奥深さに感銘を受け、いつの間にか諦めていた「研究者になりたい」という子供の頃の夢が再燃しました。それから沢山の出会いがあり、出会った方々が私の背中を後押しし、母校で教鞭をとる幸運に恵まれたのです。人生を変える出会いと機会が本学にあると信じています。私も皆さんの挑戦を支援し続ける存在でありたいと願っています。



# 社会貢献活動を 「楽しさ」と「やりがい」に

佐賀県学生献血推進協議会  
～ちっち～ 会長

松藤 優汰



今回学生広報スタッフがお話を伺ったのは、全国で献血推進活動を展開している学生団体の佐賀県支部、佐賀県学生献血推進協議会「ちっち」の松藤優汰さん。理工学部都市基盤工学コース2年生(令和6年12月取材時点)の松藤さんは、その会長を務められています。



会長の松藤優汰さん

## オール佐賀大生の ボランティア団体

現在若者の献血者数が減少しています。そこで「若者」である私たちが率先して呼びかけをして献血を身近に感じてもらう、献血者数を増やすことを目的に活動しています。もともとは佐賀県のボランティア団体で、所属している30人以上の学生全てが佐賀大学生です。学内や商業施設で献血が行われる際には、現場で呼びかけをしています。普段は毎週金曜日に教養教育

1号館で定例会を行っています。定例会では、呼びかけの準備、他県の学生献血推進協議会とのコラボポスターの制作や献血に関する勉強会も開きます。また、SAGAアリーナの近くの「献血プラザさが」には、私たちのボランティアルームがあり、そこで活動を行う場合もあります。



ポスターの制作

## 年間のメインイベント

私たちの活動には特に力を入れているメインイベントがあります。それは学内献血とクリスマスキャンペーンです。学内献血は毎年4月下旬と10月の4日間、大学の構内に献血バスを配車して献血を行っています。ターゲットは主に佐賀大生なので、私たちが目標としている若

年層に献血を身近に感じてもらう一番のチャンスとして力を入れています！



学内献血での呼びかけ活動

そしてクリスマスキャンペーンは、毎年12月の毎週金曜日に、県内商業施設やイベント会場で活動をしています。毎年冬は献血者数が減少します。その為、少しでも人の目につきやすいように献血推進キャラクターの「けんけつちゃん」と一緒に呼びかけを行います。すると先に子どもたちが興味を示してくれて、親御さんの献血のきっかけにもなるんですよ！



「けんけつちゃん」との呼びかけ





学内献血



定例会の様子

## 責任をもちつつ 楽しく活動

佐賀大学に入学したときに、一つ上の高校の先輩がこの団体に所属していたので、私も参加しました。献血は高校時代に一度経験していたんですが、元々それほど興味があつたわけではありません。だからまず、献血への協力を呼び掛ける立場の自分がいなかったとした知識を持つて、献血について勉強しました。また、メンバー間でも知識を深めて献血の大切さをしっかり伝えられるように日々努力しています。

## 社会貢献活動と やりがい

献血者数が増えることが一番のやりがいです。また、活動中に様々な方から「頑張ってるね」などの励ましや応援のお声がけをい

## 読者の皆さんへ

皆さんの献血をお待ちしています！メンバーも随時募集していますので、Xやインスタグラムでお待ちしています。学内献血の際には、ぜひ声をかけてください。佐賀大学の皆さん、献血するとパンやお菓子、私たちがからのプレゼントもありますので気軽ににお立ち寄りください！



献血バスの前で

ただなのですが、そんなとき本当にこの活動をやってよかったなと思います。また、このような社会貢献活動に携わっていること自体に大きなやりがいを感じています。様々な学部の先輩や日本赤十字社に従事されているスタッフの方々と一緒に活動できることは、何物にも代えがたい貴重な経験です。



取材を担当したのは、左から福田花凛（芸術地域デザイン学部1年）カーンターシナナビハ（理工学部2年）

学生にとって無報酬の献血推進活動は、体力的にも経済的にも大きな負担になります。それを「やりがい」へと転換し、楽しんでいる姿が印象的でした。他県の団体とも積極的に交流しているようです！詳しくは公式SNSを参照ください。



佐賀県学生献血推進協議会(ちっち)  
公式 Instagram  
@sagagakusui



佐賀県学生献血推進協議会(ちっち)  
公式 X  
@titti\_saga

佐賀大学にはこれまで複数の企業様から「企業アピールや佐賀大学生のリクルーティングのために、ネーミングライツを行いたい」というリクエストがありました。そしてその声に応えるべく、令和6年4月から新たなネーミングライツ事業と、その事業パートナーの募集を開始しています。そこで得られた収益は、佐賀大学の教育環境の向上の為に使用されます。

あなたの社名が  
大学施設に！

# ネーミングライツ パートナー募集中！



続々と新規パートナー  
が決定しています！



松鶴建設株式会社  
「Shokaku room」  
本庄：理工学部3号館1階  
コミュニケーションルーム



株式会社佐賀電算センター  
「SDC OPEN SPACE」  
本庄：大屋根広場

令和6年8月20日に3社のパートナー企業との契約を皮切りに、令和7年1月には新たに3社と4施設の事業契約を締結しました。

続々締結！  
パートナー企業

本庄と鍋島、二つのキャンパスに、建物単位で10施設、室単位で35施設の中に166室、外部空間は12施設が設けられています。価格は、建物単位は200万円から、部屋単位は20万円から、外部空間は10万円からとなっています。

幅広い対象施設と  
リーズナブルな価格

佐賀大学の学生に自社について  
広く知ってもらいたい！佐賀大学の  
学生に自社へ就職して欲しい！



朝日テクノ株式会社  
「ASAHI ROOM」  
本庄：教養教育2号館  
2301 講義室



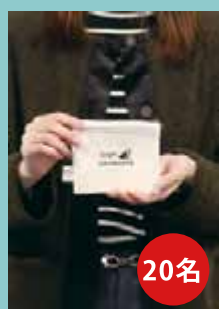
九州電力株式会社佐賀支店  
「みらいとルーム」  
本庄：大学会館1階談話室



株式会社戸上電機製作所  
「トガクラ」「トガリラ」  
本庄：理工学部大学院棟自習室、  
同5号館リフレッシュルーム



株式会社佐賀鉄工所  
「つながる一む」  
本庄：理工学部大学院棟  
1階リフレッシュルーム



コンパクトサイズのお  
しゃれなポーチ！



前回大好評だったエコ  
バッグを今回も！

## 合計30名様に当たる！ 読者プレゼント

読者アンケートにお  
答え頂いた方の中から  
抽選で合計30名の方に、  
佐賀大学オリジナルグ  
ッズをプレゼントいたし  
ます！**Webアンケート**  
に回答してご応募く  
ださい。応募期間は5月末  
日迄。当選者の発表は賞  
品の発送をもってかえ  
させていただきます。た  
くさんの  
応募をお  
待ちして  
います！



Webアンケート

といったリクルー  
ト活動のPRツ  
ールとして、是非ご検  
討ください。



専用ページ



# 佐賀大学基金ご寄附者芳名帳(令和6年7月～令和6年12月現在)

佐賀大学基金へのご協力に、心より御礼申し上げます。

ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

## 【佐賀大学基金(一般基金)】

|        |        |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 猪口 英彦様 | 上田 一富様 | 大坪 敏郎様 | 大曲 成俊様 | 小川 茂様  | 梶川 隆信様 | 河辺 一周様 | 草場 俊明様 |
| 黒木 素子様 | 古賀常次郎様 | 古賀 幸子様 | 小松 邦昭様 | 篠崎 清明様 | 関谷 英正様 | 田栗 博幸様 | 立場 久雄様 |
| 田中 知史様 | 徳永 勇雄様 | 中村 公也様 | 西川 泰右様 | 西村 恵子様 | 西本 健一様 | 橋本 朋雄様 | 原 瞬得様  |
| 原 新一郎様 | 原 利明様  | 東島與一郎様 | 久野 功様  | 古田 一陽様 | 松尾 茂雄様 | 三橋 彰弘様 | 村上 浩様  |
| 森 公義様  | 山口 朝美様 | 山口 賢治様 | 雪竹 智様  | 他14件   |        |        |        |

## 【美術館募金】

|        |          |       |                      |        |        |        |       |
|--------|----------|-------|----------------------|--------|--------|--------|-------|
| 足達由起子様 | 門井エツ子様   | 北村 博様 | 久保 正子様               | 篠塚 秀美様 | 原口 庄塑様 | 平井 明子様 | 平山 伸様 |
| 本田 利光様 | ワタナベ画材店様 | 渡 孝則様 | 医療法人ロコモディカル<br>江口病院様 | 他5件    |        |        |       |

## 【修学支援基金】

|        |        |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 池田 昌彦様 | 池富 香理様 | 浦川 智子様 | 大家 朝子様 | 大村 直様  | 奥野 弘也様 | 帯田 輝幸様 | 金子 正久様 |
| 古賀 勝様  | 陣内 義守様 | 高橋浩一郎様 | 竹下 勉様  | 中嶋 真也様 | 藤井 鹿男様 | 御手洗 永様 | 宮田 正史様 |
| 山口 元子様 | 吉田 修様  | 高良 研太様 | 他12件   |        |        |        |        |

## 【課外(ヨット)活動支援基金】

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| 田中 里紀様 | 中島 啓二様 | 他4件 |
|--------|--------|-----|

## 【課外(漕艇部)活動支援基金】

|        |        |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 雨森 貞浩様 | 大枝 敏様  | 大久保秀祐様 | 柏田 知美様 | 嘉村 朋顕様 | 亀田 義人様 | 木村 直也様 | 竹内 美香様 |
| 西原 正志様 | 松藤 祥平様 | 安武 結衣様 | 雪本 薫平様 | 他4件    |        |        |        |

## 【課外(軽音楽部)活動支援基金】

|        |        |       |        |        |       |     |
|--------|--------|-------|--------|--------|-------|-----|
| 一ノ瀬文男様 | 岩永 智代様 | 岡 政史様 | 鶴澤 礼実様 | 肥田 泰慈様 | 室 雅巳様 | 他3件 |
|--------|--------|-------|--------|--------|-------|-----|

## 【課外(準硬式野球部)活動支援基金】

|        |        |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 秋山 隆行様 | 江村 正様  | 尾形 善康様 | 加治 亮平様 | 神田 佳洋様 | 須田 久雄様 | 徳永 琢也様 | 仲村 将幸様 |
| 本村 友一様 | 諸隈 宏之様 | 他4件    |        |        |        |        |        |

## 【院内保育所事業基金】

|        |     |
|--------|-----|
| 小泉 穂高様 | 他2件 |
|--------|-----|

## 【課外(一般)活動支援基金】

|        |
|--------|
| 木戸 宏幸様 |
|--------|

## 【課外(アメフト部)活動支援基金】

|        |
|--------|
| 高田 俊行様 |
|--------|

## 【課外(硬式野球部)活動支援基金】

|    |
|----|
| 1件 |
|----|

## Giving Campaign 2024

Giving Campaign 2024(2024.10.11～10.20)のご寄附者名簿 いただいたご寄附は、課外活動支援基金を通して、応援された公認サークルの支援金として大切に活用いたします。

## 【アメリカンフットボール部】

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| 遠田 大希様 | 鶴池 悠貴様 | 他5件 |
|--------|--------|-----|

## 【ソフトテニス部】

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| 津山 政司様 | 三田井和典様 | 他7件 |
|--------|--------|-----|

## 【航空研究会】

|       |     |
|-------|-----|
| 平山 伸様 | 他1件 |
|-------|-----|

## 【合気道部】

|        |     |
|--------|-----|
| 山崎 達馬様 | 他1件 |
|--------|-----|

## 【水泳部】

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| 西山龍二郎様 | 重松 誠弥様 | 他2件 |
|--------|--------|-----|

## 【漕艇部】

|        |       |     |
|--------|-------|-----|
| 岡本 郁子様 | 坂田 隆様 | 他2件 |
|--------|-------|-----|

## 【SCS】

|    |
|----|
| 2件 |
|----|

## 【SILS】

|    |
|----|
| 1件 |
|----|

## 【医大祭実行委員会】

|    |
|----|
| 3件 |
|----|

## 【混声合唱団コーロ・カンフォーラ】

|    |
|----|
| 2件 |
|----|

## 【男子ハンドボール部】

|    |
|----|
| 2件 |
|----|

## 【嵐舞】

|    |
|----|
| 7件 |
|----|

お問い合わせ先

## 佐賀大学基金事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地  
TEL 0952-28-8390 FAX 0952-28-8118

(佐賀大学総務部総務課内)

E-mail kikin@mail.admin.saga-u.ac.jp

URL https://www.kikin.saga-u.ac.jp

■五十音順にて掲載しております。

■お名前の公表をご希望されていない方につきましては、人数のみ掲載しております。万が一お名前が漏れている等の不備やお気付きの点等がございましたら、誠に恐縮ではございますが、佐賀大学基金事務局までご連絡ください。

いただいたご寄附により、奨学金の給付、課外活動の備品購入等に使用させていただきました。今後とも更なるご支援のほどよろしくお願いいたします。

また、多数の卒業生からもご寄附をいただいておりますが、卒業生への広報活動には佐賀大学同窓会のご協力をいただいております。この場を借りて御礼申し上げます。



# 佐賀大学校友会は、在学生の海外留学、国際活動や課外活動、ボランティア活動などで頑張っている学生への支援を行っています。

佐賀大学校友会では会員になっていただける方を募集しています。

校友会事業の詳細については、佐賀大学校友会HPに掲載しております。

佐賀大学校友会の活動についてご賛同いただきご入会いただきますようお願いいたします。

詳細はこちらでご確認下さい。

佐賀大学校友会HP <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp>

●会員制のため、ご芳名は公表しておりません。

お問い合わせ先

## 佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地  
(佐賀大学総務部総務課内)

電話 0952-28-8390 FAX 0952-28-8118

E-mail : koyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp



# 誌上ギャラリー

令和6年度  
芸術地域デザイン学部・大学院地域デザイン研究科  
卒業・修了制作展

## 視覚伝達デザイン



江原 佳奈絵

《学部生向け学生相談促進キット  
「tRips-きみと過ごす1454日の旅-」》

## 西洋画



河塚 彩和

《おばあちゃんの写真を思い起こして》

## 彫刻



岡崎 好花

《Birds》

## 日本画



## 有田セラミック



荒木 晃

《交感 - 注ぐ 満ちる》

都留 千奈津

《絵のなかの樹のなかのあなたの佳作の標本》

## 情報デザイン



伊賀 滴

《キテン郵便局》

## 映像デザイン



桶本 優

《3つの事例から見る現代社会においての人の運命的な出会いについての研究：  
ショートフィルムオムニバス》



本学の情報をスマートフォンで見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用下さい。  
スマートフォン用 URL: <https://www.saga-u.ac.jp/sp/>

